

登録コード	T5B03300	開講年度	2026	県内大学開放授業			
授業科目	現代デザイン学(16T以降)					担当教員	寺内 美紀子
英文授業名	Contemporary Design Studies					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生	建築学科3年生
講義室	工W2-601教室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2.5Tカリ, 2.3Tカリ						
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身につけている。				現代デザインに必要な知識を身につけ、家具スケールから都市スケールまでを対象に幅広くデザインするために必要な学力を身につけることができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	建築を中心に家具から都市空間までを対象に、これらに関するデザイン理論、思考、あるいは建築家、歴史家、批評家の主な文献を概観する。さらに最新デザインが紹介され、これらを論理的に解説する方法を身につけることで、トータルな環境デザインのために必要となる条件を創造的に発見する。建築意匠設計やまちづくりなどで実務経験のある教員による実践的な講義をうけることで、より具体的にデザインの社会的な意義について思考することができる。						
(5)授業計画	【01】現代デザイン学ガイダンス 【02】プレゼンテーションとストーリー前半 【03】プレゼンテーションとストーリー後半 ミニレポート 【04】美か機能か? 「建築美論のあゆみ(井上充夫):古代」 【05】美か機能か? 「建築美論のあゆみ(井上充夫):中世」 【06】美か機能か? 「建築美論のあゆみ(井上充夫):近世」ミニレポート 【07】小さな建築による場づくり__地域 【08】小さな建築による場づくり__身体 【09】小さな建築による場づくり__風景 ミニレポート 【10】現代建築の理論/ヴェンチュリ 【11】現代建築の理論/コールハース 【12】現代建築の理論/ヴェンチュリ vs コールハース ミニレポート 【13】空間のタイポロジー/建築構成学__原論 【14】空間のタイポロジー/建築構成学__住宅 【15】空間のタイポロジー/建築構成学__一般建築 ミニレポート、授業アンケート						
(6)成績評価の方法	現代デザインに関するレポートおよび課題、授業貢献度を総合的に評価する。						
(7)成績評価の基準	現代デザインに関するレポートおよび課題、授業貢献度を総合的に評価し、60%以上を合格とする。ただし、単位取得には全課題を提出し、2/3以上の出席を必要とする。						
(8)事前事後学習の内容	授業時間30時間(2時間×15回)、自習学習時間60時間(4時間×15回)						
(9)履修上の注意	建築計画学を修得しておくこと。現代デザインに関する文献(授業時に紹介)を読むことが望ましい。						
(10)質問,相談への対応	メールにて受け付ける(面談希望の場合も事前連絡が望ましい)。 アドレス: terauchi@shinshu-u.ac.jp						
(11)その他							
【教科書】	坂本一成ほか: 建築構成学 建築デザインの方法、実教出版、2012.03, 2,640円						
【参考書】	特になし、授業に応じて資料の配布あり						